

会議名	第2回大甕・太田地区学校適正化検討協議会
日時	令和7年12月23日（火）18：30～20：00
場所	大甕生涯学習センター 研修室
参加者（庁内）	教育長、教育委員会事務局長ほか
参加者（庁外）	大甕・太田地区学校適正化検討協議会委員及びオブザーバー 10名

【説明事項】

（1）第1回検討協議会の振り返り **資料1-1、2**

第1回の会議の総括や、質疑応答や出された意見について説明。

①主要な意見

人間関係の多様性の例として、市内に外国の方が地域に居住している。そういう人との交流や教育を学校の中に取り入れてもらえると良いと思う。

②質疑応答

No	委員からの意見	事務局からの回答
1	資料にある幼小接続とはなにか。	義務教育学校の場所は原三中を想定しており、一つの案として原三中の場所に大甕幼稚園をつくり、連携を取るといった話が前回あったため、そのような表現にしている。

③決定事項・今後の対応など

特になし。

【協議事項】

（1）現状の教育環境の良さ（メリット）と課題（デメリット）について **資料2**

現在の大甕・太田地区の教育環境の特色・魅力を再認識するため意見交換。

No	目指すべき子どもの姿	メリット	デメリット	方策
1	○得意を伸ばす	○得意を伸ばすにあたって、少人数のため先生の目も届きやすく様子を把握しやすい	○都市部と比べて経験できることが少ない ○高度な分野に関して学校内だけでは限界がある	○少人数であるからこそ、体験させてくれる企業が多いと思うので、そこを活発に行っていく
2	○異学年を通しての成長	○他校にはない環境	○スタートしてから馴染むまでに時間を要するのではないか	○異学年同士が交流するイベント
3	○文武両道	○人を呼び込むための外部へのアピールポイントになる	○教育環境の整備が難しい	○外部講師の活用

No	目指すべき子どもの姿	メリット	デメリット	方策
4	○南相馬や太田大甕に愛着を持ち、郷土に誇りを持てる	○農業体験、野馬追への参加	○他地域に目を向けるのもいい機会になるのでは	○地域企業との交流、友好都市など他地域の同年代の子どもたちとの交流
5	○協調性・多様性を育む	○学年の縦の交流が生まれやすくなる	○そもそもの人数が少ないため多様な意見が集まるのか ○外部からの刺激が少ない	○グループ活動
6	○地域を愛する、誇りを持つ	○地域資源の豊富さ、地域のお店に訪問	○発信力の弱さ、地域との交流のアピールが少ない	○地域企業等と連携して情報発信する
7	○基礎体力の充実 現状：体力がなく45分間座ってられない、福島県の肥満率の高さ	○身体的な健康が心の健康につながる	○運動の機会減少	○クラブ活動・部活動に小6にあたる子ども参加できるようにする
8	○学校という垣根にとられずに仲良くいられる	○大甕小、太田小、原三中の物理的距離の近さ	○一つにコミュニティが固まってしまうとそこに固執してしまうのでは	○学校だけでなく地域全体での活動を増やしていく
9	○基礎学力の向上、特に国語力・読解力の向上	○勉強や交友関係、人付き合いなど、なんでも読解力が必要になってくる。国語力が向上すれば自ずと相手を思いやる力や想像力も身につく	○規模の大きい学校に比べて経験が不足しがちになる	○読書習慣を身につける、読書タイムの実施
10	○基礎学力・体力を身につける	○一人一人に対する細やかな教育活動ができています	○体育、委員会、クラブ活動が限定的	○小規模校のよさをいかす
11	○思いやりを持ち子ども同士で成長し合う	○子ども同士、子どもと先生の関係がしっかり気づけている	○複式学級などで先生の負担が増えることで子どもたちにも影響が出るのでは	○子ども不足の根本的課題を解消するため幼保小の連携を実現する

③決定事項・今後の対応など

出された意見を整理した上で、今後より良くするにはどうしたら良いのか、という点を、次回以降に協議。

(2) 大甕・太田地区の教育環境の特色と魅力について **資料3**

現在の大甕・太田地区の教育環境の特色・魅力を再認識するため意見交換。

①主要な意見

- 伝統文化を継承している点、農業体験、少人数教育
- 野馬追、少人数教育による縦のつながり、太田地区運動会などでの地域の人たちとの結びつき、田んぼのある景色
- 農業体験、地域の運動会、マンツーマン指導、田舎ならではの自然とのふれあい
- 地域住民との交流活動、(子どもたちの企画した地域活動ができれば)
- さつまいもの苗植えやさつまいも掘り体験、大甕芸能文化祭
- 馬との距離が近い点、ロボテス、(防災意識の向上)
- 行政区単位でのイベントが多い、農業体験
- 田植え稲刈り餅つきまでの一連の農業体験ができる

②質疑応答

特になし。

③決定事項・今後の対応など

出された意見については、整理した上で、今後の適正化について検討する上での参考とする。

(3) 大甕・太田地区保護者懇談会の日程（意向調査）について **資料4**

2月に開催予定の保護者懇談会の関心を高めるため、また、参加者を増やすために対象保護者への事前意向調査を行うことについて事務局から説明

①主要な意見

特になし。

②質疑応答

特になし。

③決定事項・今後の対応など

意向調査については、事務局案のとおり進めることとする。

【次回会議の予定】

令和8年1月14日（水）開催予定。